

久留米

通高 信専

2008年冬号

[JANUARY 20, 2008]

久留米工業高等専門学校企画主事室
〒830-8555 久留米市小森野1-1-1
TEL:0942-35-9300
<http://www.kurume-nct.ac.jp/>



高専祭を終えて

今年も無事に、伝統ある高専祭を終えることができました。今年度は「高専創造物語」というテーマを掲げて11月2日、3日、5日の日程で行われました。

例年は、上級生が十数人いるのですが、今年は3、4年生が合わせて7人しかおらず、残りは全員1、2年生、経験者が少ない状態でのスタートでした。しかし、皆さんの協力のおかげで高専祭を無事開催することができ、大変嬉しく思っています。

今年の高専祭には例年以上の地域の皆様、保護者の方々、そして本校の学生を始めとしてたくさんの若い人達が来てくれました。メインストリートの出店、ステージ、各学科による公開実験、部活動などの展示など多くの学生達の輝く場をご覧にいただけたかと思います。

今後も、伝統ある高専祭が受け継がれ、ますます活気づいていくことを楽しみにしています。

・前夜祭(2日)

お昼に御神輿が高専を出発し、三本松公園を經由して久留米の一番街を折り返し、再び三本松公園に帰ってきました。学生達の力強い声で久留米の街を練り歩きました。御輿行列や華麗な打ち上げ花火など、高専祭の始まりにふさわしい前夜祭でした。



・文化祭(3日)

今年も天候に恵まれ、とても素晴らしい環境の中で文化祭を開催することができました。去年から始まったステージでの防音対策を今年も行いました。学生や保護者達だけではなく、小森野の近隣の住民の方々まで楽しんでいただけるように努力しました。



・体育祭(5日)

今年は残念ながら悪天候のため、プログラムを大幅に変更して行いました。途中で雨が降ってしまっただけで切り上げとなってしまいましたが、騎馬戦と応援合戦は大いに盛り上がりました。熱き高専人の戦いがグラウンドの上で繰り広げられました。



今回高専祭を行うにあたってご協力いただきました教職員の皆様、地域住民の皆様、学生の皆さん、本当にありがとうございました。今年も大きなトラブルもなく進行でき、また大勢の方に御来場頂いて実行委員一同大変嬉しく思っています。

最後に、実行委員として頑張ってくれた皆さん、本当に頑張ってくれました。ありがとうございました！！

私たち機械工学科は、関東地方へ5社の工場見学に行きました。順にJAL航空整備、ファナック、東芝機械、日本精工、牧野フライスです。



富士山麓に立地するファナックという会社では、普段こういった工場見学を受け入れていないとのことでしたが、「久留米高専ならば」ということで受け入れてくださいました。それはつまり、久留米高専の学生として誠意ある態度で見学に望むべきだということなのですが、果たして……。このファナックでは、主に産業ロボットの製造工程やそのロボットの驚くべき俊敏さやその正確さを見る事ができました。また、工場の清潔さ、周辺の自然環境の良さは、私の「工場」のイメージを覆すもので、今後、就職先を決めるにあたって一つのパラメータとなりそうです。また、後に見学した他社の工場で、ファナックの製品が使われているのを見ると、「こうして評価される製品を作りたいよな」と自分なりの感想を抱きました。

神奈川県厚木市にある牧野フライス製作所で見られた機械には本当に感動しました。高精度のマシニングセンタが、自動車用エンジンのシリンダヘッドや、エキゾストマニフォールドさらにはタービンのコンプレッサホイルまで、それぞれを目にも止まらぬ早業で……。しかもポートの中までエンドミルが入って行って!! みんなで「ヤベー!! ありえん!!(笑)」などと大ハシャギで、少なくとも私は興奮しっぱなしでした。ここ牧野フライスには、つい数年前に久留米高専を卒業して入社したという先輩方が2人もおられ、それぞれのお話を聞く時間も設けて下さったので、本当に為になる話を聞かせて頂きました。牧野フライス以外の会社でも久留米高専を卒業したばかりの方がいらっしゃったので、それぞれのプレゼンを比べてみたりもしました。

四日目は一日都内自主研修として、それぞれのグループで観光しました。私はプライベートで、東日製作所という会社に連れて行ってもらいました。去年まで一緒にバイクを弄っていた先輩が就職した会社で、早くも設計業務に当たっている先輩の姿を見て「就職」を少し重く感じました。

この報告書にまだ書ききれませんが、工場見学旅行では学ぶことがたくさんありました。3年生以下のみなさんも是非、工場見学旅行を丁寧に計画してみてください。

定期テスト、再試、出発直前までレポートに追われながら、僕たちの4泊5日、関西への船旅はあわただしくスタートした。今回の工場見学は正規の講義の一環であったものの、船にゆられながら、旅行気分の気楽な始まりだったと思う。

僕自身、最も印象に残った企業は、ダイキン工業であった。ダイキン工業といえば、まず思い浮かぶのが空調設備であるが、フッ素化学においても最先端に行く企業である。僕はインターンシップでもダイキン工業淀川製作所で実習させていただいていた。それでも、化学プラントの迫力と大きさは、普段、ピーカーの規模で実験する僕たちにとって、製品が完成するまでの化学反応を説明されても、いまいち、びんとこないほど圧巻であった。また、フッ素化学と聞いても、なかなか普段の生活の中でイメージするものは少ないが、例えば、各種冷媒、フライパン等の非粘着塗料、ゴムパッキン、半導体周辺の材料に至るまでその技術は応用されている。ホタル石から生まれたフッ素化合物ひとつひとつが新たな可能性を広げていく世界は、とても魅力的であった。

さらに、僕たちは、TOTO、シャープ、不二製油の工場を見学し、わが国の技術のレベルの高さに驚くとともに、技術者の責任と役割を学んだ。



今回の旅で得た大きなものがある。それは、これからの人生について悩みを打ち明けあう友人ができたことである。4年に在学する僕たちは工場見学により、今まで以上に進路について真剣に考えるきっかけを得た。自分が本当にやりたいことは何なのか、これから何をすべきなのか、悩み、不安に思う人は多いのではないだろうか。僕自身、その一人である。しかし、寝食を共にし、自分を曝け出すことで、自分一人では見つけられなかったことを発見できたと思う。

気楽に始まった旅であったが、いざ振り返ると全てが自分の財産になり、一生の糧となった。この財産を活かすためにも、これから、さらに勉学に励み、社会に貢献できる技術者になりたいと思う。工場見学が終わり、家に行き着いたとき、どっと疲れを感じたが、その疲労感がまた最高に思える旅でもあった。

友達は一生命ん！大切にせんといかんばい！

工場見学旅行に行って

材料工学科 4年 井上侑哉

私たち材料工学科は、9月25日から29日までの5日間、関東地区へ工場見学旅行に行きました。見学した工場は

- ・日本航空（株）羽田整備工場
- ・（株）IHIマリンユナイテッド横浜工場
- ・日本精工（株）藤沢工場
- ・新日鐵（株）君津工場

の4つの工場です。

この4つの工場を見学することで、原料が加工され実際に製品になるまでの一連の流れを見ることができたのはとても有意義な経験だったと思います。この中で一番印象に残っているのは、日本精工株式会社です。この会社は軸受（ベアリング）や自動車関連製品を生産している会社で、なかでも自動車向けベアリングでは国内トップを誇る企業です。

実際のところ、自分はベアリングがどういうもので何に使われているか、何の役に立つかということ全く知らないまま工場を見学していました。しかし企業の方の説明を聞く中で、ベアリングは産業の基盤となる部品であること、また、この日本精工という企業がベアリングで国内、国外ともに大きなシェアを得ているといったことを知り驚きました。また、他の工場でも日本の技術力の高さを実感することができました。

宿泊したホテルは横浜、東京ともにより施設で、自由行動中には東京の高層ビルに驚いたり、見知らぬ外人と友達になったりと普段とは違った雰囲気です。充実した5日間を過ごすことができました。



短期インターンシップ

電気電子工学科 4年 吉田 誠

私は、8月下旬に東京、品川区にある、「キャノンマーケティングジャパン」という企業のインターンシップに参加してきました。インターンシップに参加して、よかったと思う点は、全体を通して、プログラムの内容がしっかりしていたため、内容が濃いものであったということ、学校で習ったことのない知識や技術を学ぶことができたこと、キャノンについて、デジカメやプリンターだけでなく、ほかにも広い世界で活躍していることを知ることができたこと、キャノンの経営形態などを実際に見せていただいたことです。また、8日間、社会人として生活することで、自分には一社会人としてどのようなスキルや常識、マナーが足りないかを実感することができました。それ以外にも、ウィークリーマンションを与えられ、およそ1週間、一人暮らしをしましたが、身の回りのことは自分でしなければなりません。家事全般は自分の仕事です。私は、就職したら一人暮らしをしたいと思っていたので、これはその練習のような、非常に貴重な体験でした。最終日には、若手社員の方と懇談会が設けられ、実際にこの会社で働いてどう思うか、東京での生活について、就職活動の際に考えるべきことなど、現実的な問題などを気軽に話すことができました。

最後に、インターンシップには全国各地から24名の高専生が参加し、共に行動することで連帯感を学び、苦労を共にした良い友達になることができたし、自分にとってとても大きな8日間になりました。

インターンシップを終えて

制御情報工学科 4年 真崎 浩

私は今回、株式会社サンコーという工場に行ってきました。この会社は金属プレスを中心に、金型から製品を作る工場です。私は職場体験ということで金型を作らせてもらいました。その中で私を感じたことは、自分のできることを自分や他人のために活かすということです。仕事の中では、それぞれの人がそれぞれ得意な分野というものを持っています。だからそれぞれの仕事で問題が発生すればその分野に関して得意な人に相談に行くのです。そういった、仲間と協力する関係が組織の中では必要だと感じました。また、そのためにも日々の挨拶や付き合いは重要だと感じました。

平成19年度（平成20年3月）卒業予定者の就職内定状況

平成20年1月現在

久留米工業高等専門学校

機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	生物応用化学科	材料工学科
J R九州	東京電力	ソニー	旭化成	三菱重工業長崎造船所
J R西日本	関西電力	NTTコミュニケーションズ	武田薬品工業	三菱重工業高砂製作所
本田技研工業	J R西日本	本田技研工業	塩野義製薬	三菱重工業神戸造船所
富士重工業	三菱重工業長崎造船所	日本電産	大塚製薬	JFEスチール知多製造所
日産テクノ	三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所	アマダ	中外製薬工業	IHIマリユナイテッド
日本たばこ産業	シャープ	NTTコムウェア九州	東洋新薬	住友金属鉱山
いすゞエンジニアリング	トヨタ自動車	トプコン	大日本インキ化学工業	京セラ鹿児島国分工場
カシフジ	日産自動車	第一精工	ダイキン工業	東洋鋼板
アイシン精機	本田技研工業	半導体エネルギー研究所	住友精化	東レ
九州グリコ	富士重工業	KDDIテクニカルエンジニアリングサービス	大日精化工業	高砂熱学工業
黒崎播磨	トヨタテクニカルディベロップメント	日信電子サービス	三洋化成工業	INAX
三松	スズキ	富士通アドバンストソリューションズ	日東電工	東プレ
名村造船所	J A L 航空機整備成田	日立INSソフトウェア	昭栄化学工業	TDK
極東開発工業	J A L 航空機整備東京	ノリタケ伊勢電子	協和発酵工業	富士ダイス
J A L 航空機整備成田	日立メディコ	NHKテクニカルサービス	サントリー	佐賀鉄工所
東洋保全工業	日立ビルシステム	富士通九州システムエンジニアリング	ニプロ	日鉱金属
京セラ鹿児島国分工場	ソニーイーエムシーエス長野テック	行政システム九州	京セラ鹿児島川内工場	神戸製鋼所
第一精工	パナソニックコミュニケーションズ	ナスカ	九州グリコ	NSKニードルベアリング
中部国際空港施設サービス	富士通サポート&サービス	コックス	理研ビタミン	アーレスティ
日本発条	TDK	グッドウィルエンジニアリング	不二製油	東伸熱工
エクセディ	日本事務器	エム・イー	第一三共プロファーマ	トーヨーカネツ
トーテックアメニティ	東洋新薬		セイコー加工機	DOWAサーモテック
平山設計事務所	明電舎			
	佐電工			
	ツカサ電工			
	旭化成			
	オリンパス			

平成19年度（平成20年3月）専攻科卒業予定者の就職内定状況

平成20年1月現在

久留米工業高等専門学校専攻科

機械・電気 システム工学専攻	求職者16 男16、女0 内定者15 男15、女0	トヨタ自動車九州、富士通九州システムエンジニアリング デンソー北九州製造所、大電（2名）、 日立超LSIシステムズ、牧野フライス製作所 パナソニックコミュニケーションズ、 富士通、戸畑共同火力、NECインフロンティア、 第一精工、新日鐵住金ステンレス、 東京エレクトロン九州、サンコー
物質工学専攻	求職者10 男7、女3 内定者9 男6、女3	中外製薬工業、日本生物製剤、日進製鋼、高周波熱練 塩野義製薬、東洋インキ製造、昭栄化学工業、 オーケー食品、沢井製薬

平成19年度進学状況

平成19年度 大学編入学合格状況等

平成19年10月20日現在

大学名	合格者数					
	機械	電気	制御	生化	材料	計
豊橋技術科学大学(推薦)		3				3
豊橋技術科学大学(学力)				1	1	2
九州大学(工学)			2	3	3	8
九州大学(経済)			2			2
九州大学(芸術工学)	1					1
九州大学(理学)		1				1
九州工業大学(工学:推)		2	1			3
九州工業大学(情報工学:推)		1	2			3
熊本大学(工学:推)	1	2			2	5
熊本大学(工学:学)		1		1	1	3
佐賀大学(理工学)					1	1
長崎大学(工学:学)		1			1	2
山口大学(工学)		1				1
広島大学(工学)						
広島大学(理学)						
広島大学(生物生産学)				1		1
岡山大学(理学)						
大阪大学(工学)						
京都府立大学(農学)						
京都大学(工学)				1		1
神戸大学(理学)		1				1
神戸大学(農学)				1		1
名古屋工業大学(機械工学)						
東京大学(工学:推)						
東京大学(農学:推)						
東京工業大学(工学)						
東京工業大学(生命理工学)				2		2
東京農工大学(工学)						
東北大学(工学)						
東北大学(理学)						
北海道大学(工学)						
北海道大学(農学)						
金沢大学(理学)		1				1
北九州市立大学(文学)						
電気通信大学(電気通信学)		1				1
航空大学校						
合計	2	15	7	10	9	43
重複者を除く実数	2	13	7	7	8	37

平成19年度 久留米高専専攻科合格状況

平成20年1月20日現在

学校名	合格者数					
	機械	電気	制御	生化	材料	計
久留米高専(推薦)	5	1	3	4	6	19
久留米高専(学力)前期	4	1	1	6	2	14
久留米高専(学力)後期	2		5	1	1	9
合計	11	2	9	11	9	42

平成19年度 専攻科 大学院合格状況等

平成19年10月20日現在

大学院名	機械・電気 システム工学専攻	物質工学専攻
九州大学大学院 総合理工学府	2	2
九州大学大学院 生物資源環境科学府		2
九州大学大学院 システム情報科学府	1	
九州工業大学大学院 生命体工学研究科	2	
早稲田大学大学院	1	
長岡技科大学大学院		1
大阪大学大学院	1	
進学希望	1	-
合計	8	5

機械工学科 橋村 真治

機械工学科では後期中間試験中の11月30日と12月1日に、福岡県内の企業の方々に対して3次元CAD講座を行いました。

3次元CADとは、コンピュータ内で3次元の構造物を作成し、組立てるソフトウェアです。現在、自動車や航空機業界における設計の主流は、この3次元CADによる設計となっています。今回の公開講座では、時間的な制限もあってユニバーサルジョイントという簡単な機械部品をパソコン内で作成し組立てました。講座には、第一線の地域企業の方に参加して頂きました。ティーチング・アシスタントとして機械工学科5年生にも協力してもらい、公開講座を遂行することができました。修了後のアンケートでは、十分満足していただけたこと、そして今後への要望を回答いただきました。

このような公開講座は、久留米高专としての地域貢献、ならびに機械工学科が現在進めている3次元CADを用いた機械工学教育を地域の方々にも広げるために行いましたが、次はこの経験を機械工学科として、本校学生の教育にフィードバックするよう努めていきたいと考えています。



篠山小 「科学の日」における展示・実演

産学民連携推進センター長 伊藤義文

10月17日 久留米市立篠山小学校において、理科や技術を中心とした体験イベント「科学の日」がおこなわれ、同校からの依頼により、本校からは以下に示す内容で展示・実演をおこないました。参加した小学生たちは様々な実演に目を輝かせていました。

- (機械工学科) エコランカー
- (電気電子工学科) PICによる音楽演奏
- (制御情報工学科) ライトレースロボット
- (生物応用化学科) 吸水ポリマー
- (材料工学科) 形状記憶合金



「第12回マナビランド」に「ふれあい理工学展」を出展

11月11日に本校は、久留米市の生涯学習の拠点とも言える「えーるピア久留米」において、毎年同市などの主催で開催している「第12回マナビランド」に、本校から「ふれあい理工学展」を出展しました。

青少年及び一般市民の「理工学」への関心を深め、その面白さ、不思議さを体験してもらえるよういくつかの体験、実験コーナーを設け、ロボットの競技、公開実験を行いました。

この催しは、「久留米生涯学習フェスティバル2007」のメイン事業として、一般市民を対象として開催し、市民の生涯学習への意欲と関心を高め、市民相互の世代を超えた交流を深めることを目的として、今年は、約1,400名の来場者がありました。



高専3大コンテストの結果

プロコン同好会

全国高専プロコンは残念な結果に終わりましたが、パソコン甲子園2007プログラミング部門では8位に、ICPC(International Collegiate Programming Contest)アジア地区予選東京大会では15位に入賞しました。また、SuperCon(Supercomputing Contest)2007では情報処理学会教育委員会奨励賞と電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ スーパーコンピューティング賞を受賞しました。

デザイン・コンペティション2007 in 周南

11月16日～217日に周南市・徳山高専で全国高専デザイン・コンペティション2007 in 周南が開催されました。久留米高専からは、機械工学科3年有志のチームが構造デザイン・パスタブリッジ部門に参加しました。残念ながら一回目の载荷で崩壊してしまいましたが、デザインの加点があり、参加29チーム中24位という成績でした。来年は今年の雪辱を期して参加したいと思います。

本年度のロボコン

ロボコン2007が、佐世保市で開催されました。久留米高専からは、ロボコン部が製作したロボット4台が出場しました。Aチームはオーソドックスな高速移動型ロボット2台、Bチームはアイデアを重視した合体型ロボット2台で戦いに望みました。結果は、両チームとも通信トラブルに見舞われ、Aチームはまったく動けず、Bチームは試合開始前のわずかな誤作動によって主機構が作動不良に陥りました。残念な結果となりましたが、今年の結果をいい経験として、来年は頑張ってくださいと思います。

遊びの心 ～アルフレッド・ヒッチコック～

久留米工業高等専門学校校長 前田三男

今回は久しぶりで、映画の話をしましょう。皆さんもサスペンス映画の王様ヒッチコックの名はご存じでしょう。彼はイギリス生まれで、サイレント9本、トーキー14本の作品をイギリスで制作した後、ハリウッドに招聘され、1940年から1976年まで30本の映画を作っています。旧時代の映画作家の中では未だに衰えぬ人気を保ち、重要作はほとんどビデオ化されているので、ご覧になった方も多いでしょう。

彼が開拓したサスペンス映画、アクション映画、ホラー映画といったジャンルは、今でもハリウッドの娯楽映画の主流を占めています。これらの映画の基本である観衆をハラハラ、ドキドキさせる様々なテクニックの多くは、ヒッチコックが開拓し、受け継がれてきました。しかし、昨今の映画はかなり変質してしまったので、若い人がヒッチコックを見てドキドキするかどうか心配です。

ヒッチコック映画に共通する特徴は、推理小説における謎解きのおもしろさにあります。初期の推理小説はイギリスで発達しました。コナン・ドイルの名探偵ホームズや、アガサ・クリスティの名探偵ポワロなどに見られるように、その基本は純粋にゲーム的な謎解きのおもしろさです。日本の推理小説の主流が、松本清張あたりからそういう純粋性を失っていったのを、私は残念に思っています。ヒッチコック映画は純粋なゲーム感覚、遊び心で成り立っています。彼の映画では一見深刻な社会問題や政治問題が扱われることもありますが、彼の関心はそういった問題そのものにはありません。

ヒッチコックは映像の魔術師、天性のテクニシャンでした。彼は映像によって映画を見る人をひたすら怖がらせ、ハラハラ、ドキドキさせるためのあらゆる手段を考え続けたひとでした。1960年代フランスにおけるヌーベル・バーグは、映画の革新を目指した芸術運動で、旧来の多くの映画を否定しましたが、おもしろいことに彼らはヒッチコックだけは極めて高く評価しています。当時まだ30代のフランソワ・トリュフォーが、執拗にヒッチコックにインタビューを求め、その対話をまとめた「ヒッチコック／トリュフォーの映画術（晶文社、山田宏一、蓮實重彦訳）」という大部な本があります。これはヒッチコック研究の聖典とも言えるもので、彼自身が一本一本の映画に盛り込んだ様々なテクニックについて、実に明快に解説しています。ヒッチコックのおもしろさが、画面の細部にわたるこだわりと、遊び心にあることを教えてくれる本です。

ヒッチコックによれば、映画におけるサスペンスとは「急激なバランスの欠如による劇的な興奮」にあるそうです。最近のサスペンス映画は、これでもか、これでもかと危機感や恐怖をあおる場面を連続させるものが多いようですが、ヒッチコック映画は大部分、特に前半は何でもないメロドラマであることが多いのです。ところがその日常生活のバランスが突然くずれた時の恐怖感がヒッチコック流のサスペンスです。

以下に、私のお薦めのヒチコック映画を5編あげておきます。これは「ベスト5」という意味ではなく、若い人にもヒチコックのおもしろさを味わってもらえそうのものという基準で選びました。いずれも私が高校から大学生時代に封切られたもので、思い出があります。

1. 北北西に進路を取れ (North by Northwest、1959)

この作品はスパイものアクション映画の代表作です。初期のスパイ映画の「焼き直し」が目立ち、本来ならイギリス時代の傑作を上げるべきかもしれませんが、それらの集大成として作られた大作です。内容がぎっしり詰まっていて、見る人をグイグイ引っ張ってゆく迫力はたいしたもので、ニューヨークに始まって、舞台がどんどん移動してゆくのも、飽きさせない理由でしょう。ヒチコック映画の大きな美点はユーモアにあります。この映画では主役がコメディの達人ケイリー・グラントということもあって、その美点が最大限に味わえます。

2. 裏窓 (Rear Window、1952)

初めて見たのは大学生になってからでしたが、ずいぶん興奮してしまいました。それ以来、ヒチコックでは私のベスト1です。主役のジェームス・スチュアートが怪我で部屋から出られないという設定で、彼が窓から覗いた目の前のアパートの情景だけで構成された、ユニークな実験映画です。ヒチコックは元来カメラを自在に動かし、カメラアングルに大胆な変化を付けて見せるのが得意な人です。ところが、この映画で彼は、窓から見える情景だけしか映せないという極めて過酷な限定条件を自らに課しています。それでも、いかにおもしろいサスペンスが展開できるかが見ものです。グレース・ケリーも魅力的です。

3. めまい (Vertigo、1958)

死んだはずの人が町をさまよい歩くというオカルトムードで、全編がメロドラマ的な映画です。サンフランシスコの古い町並みと、キム・ノヴァックの濃厚なエロチシズムが印象に残ります。こういったムードの映画が気に入ったら、この姉妹編というべき「悪魔のような女(1954)」もお勧めします。原作者は同一で、こちらは「恐怖の報酬」で有名なフランスのアンリ＝ジョルジュ・クルーゾーが監督です。両者の資質や技法の違いがよくわかっておもしろいと思います。

4. サイコ (Psycho、1960)

これはヒチコックでは一番怖いホラー映画です。私は恐がり屋なので、見るのを避けて通り、実際に見たのはかなり後です。ヒチコックによると、ロバート・ブロックの原作を映画にしようと思った動機はただ1点、シャワーを浴びている女が殺される場面に惹かれたためだそうです。確かに裸のジャネット・リーが突然ナイフで刺されるシーケンスは迫力があります。ヒチコックの映画で血が流れる場面というのは珍しい。また後半のおどろおどろしいおけ屋敷風の家もヒチコック映画ではむしろ珍しく、これらはその後ずいぶん模倣されました。

5. 鳥 (The Birds、1963)

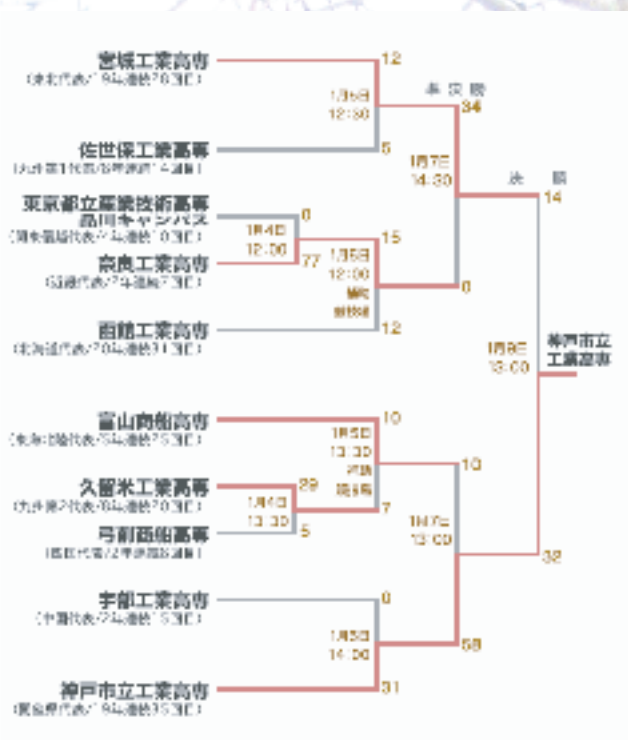
これもなかなか怖い映画です。鳩やかもめのようなおとなしい鳥が突然集団で襲いかかり、人を殺すという変わった筋で、「裏窓」と同様の大胆な実験映画です。前半はちょっと退屈なほど平坦なメロドラマが進行しますが、後半でヒチコックが言う「突然のバランスの欠如」による恐怖感が十分に味わえます。この映画では「音による恐怖」にもご注目ください。最近の多くのサスペンス映画が爆発の巨大音響効果で持たせているものが多いのに対して、この映画では微弱音による恐怖というものが存在することを教えてくれます。鳥の群れの中を脱出するラストシーンでのかすかなざわめき音は、当時まだ珍しい電子合成音だそうですが、大変な緊張感をもたらします。音楽がまったく使われていない点でも、特異な映画です。

全国高専大会の結果

ラグビー部 8年連続20回目の全国大会出場！

11月17日～20日に都城市で九州高専ラグビー大会が開催されました。初戦の有明高専戦は、ロスタイムの決勝トライで勝敗が決まる大接戦を制しました。決勝こそ佐世保に敗れはしたものの、準決勝の都城高専戦を危なげなく突破し、見事に8年連続20回目の全国大会出場を決めました。

新年に行われた全国大会では、1月4日1回戦の弓削商船高専戦に29：5で快勝しました。次いで1月5日の2回戦では、惜しくも富山商船高専に7：10で敗れました。例年にも勝るラグビー部の健闘に拍手をおくりましょう。



防災訓練の実施

本校では、毎年、火災シーズンを前に、学生、教職員の防災意識を高めるために防災訓練を実施しています。今回の訓練には、学生、教職員合わせて約1,200名が参加しました。

11月21日に久留米市消防署員立会いのもと、電気電子工学科の実験室から出火したとして学生の避難訓練が実施され、校長を本部長とする対策本部を設置するとともに、自衛消防団を編成し、119番への通報、消火器による消火操作、負傷者の搬出等、一連の訓練を緊張の中、真剣に行いました。

グラウンドへの避難訓練の後、久留米市消防署員から防災に関する基礎知識についての説明があり、また点火したオイルパンを、消火器を使って消し止める初期消火訓練を行い、消防署員による訓練講評でもって無事終了しました。

参加者は、この訓練を通して避難場所、連絡体制、避難にあたっての注意事項等を確認し、防災意識を高めることができました。



【お詫びと訂正】

高専通信秋号に掲載した、第42回全国高等専門学校体育大会結果の水泳部男子フリーリレーにおいて、出場した倉地君、永尾君の所属学科がそれぞれ2M、2Cとなっていました。2C、2Mの誤りでした。お詫びして訂正いたします。

本号掲載記事の無断転載を禁止します